

兵道けんじニュース

ホームページもご覧ください

<https://www.ken2000.com>

発行者 公明党甲府市議会議員

兵道 顕司

2026. 6

甲府市中村町 1 5 - 6

VOL. 4 0

TEL/FAX 055-237-9529

令和8年度に入り、議員任期も最後の1年となりました。

6月定例会で代表質問に登壇しました。

また、国政で連立離脱して以来、自民党、維新の与党は一気にタガが外れ坂道を転げ落ちるように懸念される国政運営を行っています。

非核3原則の見直しや、殺傷能力のある兵器の輸出を解禁する閣議決定など、およそ平和国家とは程遠い国家になりつつあります。

このため、核兵器禁止条約の締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書の提案、殺傷能力のある武器輸出を解禁する閣議決定の撤回を求める請願の採択に中心的役割を果たしました。

平和の党公明党としてこれからも地方から声をあげていきたいと思います。



※ これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

1 代表質問の主な状況

(1) 開館100周年を迎えた市立図書館について

100年前に「甲府通俗図書館」として開館した市立図書館の今後のあり方について質しました。

→ 知の拠点として未来に輝くひとの育成につなげていく。

開館日の11月21日には甲府出身の市川右若を1日館長のお迎えし、記念イベントを行うほか、移動図書館「なでしこ号」の更新も行っていく。

※これまで「活字文化の復刻」の観点から、子どもの読書活動推進計画を提言し、各図書館のネットワークの構築を推進してきました。

※こうした知の拠点としての位置づけを今後一層強めていくことは、これからの甲府市の担い手づくりという点からも極めて重要だと思います。

※また、移動図書館「なでしこ号」はこれまで来館が困難な市民への図書サービスの提供という点で重要な役割を果たしてきたことから、今回クラウドファンディングを活用して更新を行うことは歓迎すべきです。

(2) 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

現在65歳の高齢者が定期接種の対象とされていますが、接種機会を逃した市民や新たな型のワクチンの接種を希望する高齢者への助成の考え方を質しました。

→今年度から導入された20価ワクチンの有効性は国で認められているが、接種年齢の拡大については、国の動向を見ながら検討していく。

(3) まちなか回遊について

「甲府まちなかエリアプラットフォーム」の取り組みの現状について伺いました。

- まちなかの公園や道路に椅子やテーブル、夜間照明などを配置しくつろげる滞留空間の創出
 - ストリートスポーツができるエリアの設置
 - 飲食等の出店などの居場所づくり・目的地づくり
 - 飲食店などの賛同店で、タンブラーを無料で借りられる取組みにあわせ、「甲府のおいしい水道水」を給水できる「ぐるりスポット」を連動させ、回遊性遊性を高める
 - 新たな目的地づくりに向け、空き店舗をリノベーションし、エリア価値の向上を図っていく取組をスタート
 - 徒歩以上・自動車未満の移動手段であるシェアモビリティを活用した、さらなる滞留と回遊性の向上に向けた取組を推進

※これまでも、スローライフという考えのもと、新たな資源の発見と交流が期待できるまちなか回遊を提言してきました。

※来年市立動物園がリニューアルオープンすれば、より回遊性が高まると期待されます。

(4) 高額療養費制度について

現在国で高額療養費制度の限度額引き上げがなされようとしており、市民への情報提供という観点から状況について伺いました。

- 国民健康保険において令和7年度に約5,000世帯に対し、総額16億2千万円余の高額療養費を支給している
 - 8月の制度の見直しにより、高額療養費の支給額は年間約3,000万円減少する見込みとなっている
 - 制度を利用される方への影響としては、主に短期間の療養を受けられる方に、一定の負担増が生じることが見込まれる